



コスタリカで一番大きな祭りは「エル・トベ」と呼ばれる馬の祭り。クリスマス翌日の26日に、国内各地で開かれる。首都サンホセには、全国の馬自慢たちが馬を連れて集まり、その数は数千頭にも上る。開放されたメインストリートでは馬がひしめき合い、沿道は数千人のギャラリィで埋め尽くされる。

パレードに参加する馬のタイプはさまざまで、気品に満ちた白馬や農作業で活躍する馬、また、伝統的な衣装に身をまとった馬もいる。カウボーイ姿の馬乗りたちは、小刻みにステップしたり、大きく足を上げてみたり、横歩きをしたりと、エレガントにダンスを踊って見せ、観衆からは大きな拍手がわき起こる。

ロバに跨る子どもや水牛なども登場して人々を楽しませる。一日中音楽が鳴り響き、「ティカ・リンダ（ミス・コスタリカ）」が、まぶしいばかりの笑顔で登場するのも、「ティコ（コスタリカ男性）」の楽しみの一つだ。パレードは午後1時ごろ、パセオ・ロン通りからアヴェニダ・セグンダの区間の約6キロを行進する。

スペイン植民地時代より、農業国として馬を大切にしてきたコスタリカ。当時から馬のレースで騎手が技術を競っていたとされ、それが現在の祭りに発展した。

春 夏
秋 冬

27

12月 エル・トベ

馬たちの大パレード

